

## レジ袋削減実行委員会の取組状況について

### 1 概要

日常生活の中で誰もが簡単にできる「レジ袋の削減」を実践することにより、CO<sub>2</sub>と廃棄物の削減に取り組むとともに、「環境にやさしい生活スタイル」を実現していくため、平成 20 年 6 月に「神奈川県レジ袋削減実行委員会」を設置し、平成 21 年 5 月に事業者、消費者団体等各種団体、市町村、県の連携・協働のもと「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」を行い、全県域を対象とした取組を実施している。

### 2 実績

#### (1) 宣言賛同者

160 社・団体 1,169 店舗（平成 28 年 11 月 29 日現在）

（96 社・団体 852 店舗（平成 21 年 5 月 12 日宣言発足時点））

#### (2) レジ袋削減効果データ（賛同事業者報告データから集計した推計値）

	H26 年度	H27 年度	H28 年度
辞 退 率（全体）	32.2%	31.1%	31.2%
（参考） うちレジ袋有料化事業 者における辞退率	89%	93%	88%

※辞退率は、商品購入者がレジ袋を辞退した割合

#### (3) 主な普及啓発、イベント等

- ・ホームページ等の各種広報活動
- ・地球環境イベント「かながわエコ 10 フェスタ」、スーパー等小売店、神奈川再発見フェア、市町村主催環境イベント等での普及啓発活動
- ・実行委員会の開催（平成 28 年度で第 14 回目を開催）

### 3 今後の方向性

レジ袋削減は、3Rのうちリデュース（発生抑制）の象徴的な取組であり、日常生活の中で誰もが簡単にできる環境行動の実践であるため、引き続き、4者が連携・協力してレジ袋削減を進めていく。

また、平成 28 年度の実行委員会で決定した当面の取組方針として、賛同者の拡大及び若年層に対する啓発に重点を置き、次のような取組を実施する。

- ① 学生と連携し、イベント等での普及啓発
- ② 賛同者の拡大による実行委員会としての取組の促進
- ③ 賛同事業者の店舗等における、学生等と連携した普及啓発等

# 神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた 取組の実践に関する宣言

神奈川県では、地球温暖化防止に貢献するため、地域発の「地球復興」を広く呼びかける「クールネッサンス宣言」を行い、様々な取組の一つとして、レジ袋の削減に取り組んでいます。

私たち、神奈川県レジ袋削減実行委員会は、日常生活の中で誰もが簡単にできる「レジ袋の削減」を実践することにより、CO<sub>2</sub>と廃棄物の削減に取り組むとともに、「環境にやさしい生活スタイル」を実現していくため、事業者、消費者団体等各種団体、行政の参画と協働のもと、次のような取組を進めていきます。

- 1 事業者は、自らの取組を推進するとともに、神奈川県内にある店舗において、マイバッグ等の利用の促進やレジ袋の無料配布中止等の手法により、消費者団体等各種団体、市町村及び神奈川県と連携・協力して、レジ袋の削減に取り組めます。
- 2 消費者団体等各種団体は、マイバッグの持参等を実行するとともに、事業者、市町村及び神奈川県が実施するレジ袋の削減に協力します。
- 3 市町村は、自らの取組を推進するとともに、事業者のレジ袋削減に関する取組を積極的に支援し、事業者、消費者団体等各種団体及び神奈川県と連携・協力して、レジ袋の削減に取り組めます。
- 4 神奈川県は、レジ袋の削減に向けて、効果的なPRを行うこと等により事業者の取組を積極的に支援するとともに、賛同する消費者団体等各種団体の拡大を図りつつ、積極的な普及啓発を行うなど、各種取組を実施していきます。
- 5 神奈川県は、県、市町村、消費者団体等各種団体及び事業者の協働により積極的にレジ袋削減に取り組む地域をモデル地域に指定し、県内各地に展開していきます。
- 6 事業者は、毎年度、店舗ごとのレジ袋削減の数値目標や取組内容等に関する計画を作成し神奈川県に提出するとともにその結果を報告し、県は、その計画・結果を集約し公表することにより、レジ袋削減の取組の推進を図っていきます。
- 7 事業者は、地域の連携等を通じて、レジ袋の削減に積極的に取り組む店舗を、特定店舗として指定することができるものとします。  
この特定店舗におけるレジ袋辞退率は指定後1年目は30%以上、2年目以降は60%以上となるよう、神奈川県、市町村、消費者団体等各種団体及び事業者が連携・協力して積極的に取り組んでいきます。
- 8 神奈川県は、レジ袋削減の実態を把握するため、県民に対するアンケート調査やごみ組成分析調査を行い、この宣言の適切な推進に努めます。

平成21年5月12日

神奈川県レジ袋削減実行委員会